

病態栄養治療学 〈F2〉

オーガナイザー

病態栄養治療部

准教授 西 理宏

I 一般学習目標

栄養障害と栄養評価法を習得する。

II 個別学習目標

1. 各種栄養素の種類、構造、消化、吸収、代謝、機能を説明できる。
2. 食事摂取基準を説明できる。
3. 各種栄養法の特徴を説明でき、症例に応じて栄養法を選択できる。
4. 術前の栄養評価や予後判断ができる。
5. 術前後の栄養サポートの適応を説明し、栄養管理ができる。
6. 各種腸疾患の病態別栄養サポート法を説明し、栄養管理ができる。
7. 各種肝疾患の病態別栄養サポート法を説明し、栄養管理ができる。
8. 各種腎疾患の病態別栄養サポート法を説明し、栄養管理ができる。
9. 食品交換表を理解し、糖尿病の食事療法を説明できる。
10. 糖尿病腎症、糖尿病合併妊婦の食事療法を説明できる。
11. N S T(Nutrition Support Team)の意義、役割、効果を説明できる。
12. 各種治療食を理解でき、病態に応じて選択できる。

III 講義日程表

No.	月日	曜日	時限	項目	担当
1	R3. 1. 19	(火)	4	病態栄養治療学 (総論)	西
2	R3. 1. 19	(火)	5	N S T	西
3	R3. 1. 26	(火)	4	病態栄養治療学 (各論)	森田
4	R3. 1. 26	(火)	5	栄養指導	望月

IV 推薦テキスト及び参考書

臨床病態栄養学

武田英二編集

文光堂

11,000 円

V 評価方法

試験 80%および出席 20%で評価する。

なお、オンライン授業の際は別途通知する。